



国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

2024年12月10日

令和6（2024）年度 第5回定例記者会見開催のお知らせ

日時：2024年12月12日（木）10:30～12:00
場所：豊橋技術科学大学 事務局3階大会議室
※YouTubeでのライブ配信は行いません。

<記者会見項目>

- ① 「グローバルテック・イノベーター」を育む多文化共修キャンパスの創出へ～文部科学省・大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業に採択されました～（別紙1）
- ② 2023年6月2日の大雨災害に関する研究報告会開催について（別紙2）
- ③ ダイバーシティ推進センターの活動報告（別紙3）

<本件連絡先>

総務課広報係 岡崎・太田

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

2024年12月10日

「グローバルテック・イノベーター」を育む多文化共修キャンパスの創出へ ～文部科学省・大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業に採択されました～

<概要>

このたび、文部科学省・令和6年度「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」（タイプI：地域連携型）に、本学が申請した「グローバルテック・イノベーターを育む多文化共修キャンパスの創出」が採択されました。

<詳細>

「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」は、大学等が教育研究活動を行う国内外の地域における課題について、その抽出から分析、解決策の検討及び提案、社会実装に至るまでの過程において、日本人学生と外国人学生がそれぞれの文化的多様性を活かし共に学修することを「多文化共修」と位置付け、これらの共修科目や科目群・コース等の開発・実施・普及を推進するために、文部科学省が本年度から開始する事業です（令和6～11年度・6年間）。

事業を実施する大学等が、多文化共生社会の実現を牽引し、さらに多文化共修による教育研究活動が、国内外の課題解決策の提案や社会実装の先にある「ソーシャルインパクト」の創出につなげていくことが期待されています。

本学が採択された「タイプI：地域連携型」は、大学等が所在する、ないし教育研究活動を行う地域等との連携による多文化共修科目等の開発・実施等に関する取組を支援の対象とするものです。

「グローバルテック・イノベーターを育む多文化共修キャンパスの創出」では、本学の強みを生かした3つの柱『技術を科学する共修キャンパス』、『世界とつながる共修キャンパス』、『学びが視える共修キャンパス』による共修キャンパスを創出することで、我が国の伝統的なものづくり技術とグローバル時代の最先端技術を融合し、欧米の模倣ではなく日本独自の強みを基盤とするグローバルイノベーションを生み出すために必要な力、

- (1)技術科学創成力：問題の本質を探り当て、社会を変革する技術をデザインする力
- (2)グローバル共創力：多様な価値観・知識・経験を持ったメンバーとチームを構成し、共に学びながら共創する力
- (3)インクルーシブなリーダーシップ力：チームメンバーの文化や個性の違いを超えて共感を醸成し、チーム全体を牽引する力

を有する『グローバルテック・イノベーター』を育成し、10年後・20年後の我が国のものづくりに大きく貢献するという構想です。

本事業による3つの柱創出を通して、地域における「グローバル・ハブ」として、本学と地方自治体や産業界が双方向的に連携する仕組みを構築することで、留学生と地域の相互理解を促進し、グローバルマインドを地域とともに醸成し、成果を「多文化共生のまちづくりのモデルケース＝豊橋モデル」として他大学等の好事例として横展開し、波及・普及させることを目指しています。



4 質の高い教育をみんなに



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



17 パートナーシップで目標を達成しよう



広報担当：総務課広報係 岡崎・太田
TEL：0532-44-6938 FAX：0532-44-6509



2024年12月10日

2023年6月2日の大雨災害に関する研究報告会開催について**<概要>**

昨年度東三河地方で発生した大雨災害を対象に、令和6年度豊橋市大学研究活動費補助金事業の一環で、豊橋市防災危機管理課と共同研究を実施しています。夏に実施した豊橋市民向けのアンケートでは、約5000世帯への配布に対して、回答率43%の多くの回答を頂きました。このアンケートに対する解析結果と、豊橋市の行政対応、および最新の研究成果を合わせて、2025年1月11日(土)に穂の国とよはし芸術劇場 PLAT において、研究報告会を開催する運びとなりました。11月12日より、参加者の募集を開始しています。

<詳細>

開催日：1月11日(土) 13:00~16:00 (12:30開場)

場所：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース

定員：200名

参加費：無料

申込：<https://x.gd/R6nud>

Google Formが難しい方は以下の問い合わせからお願いします。



問い合わせ：豊橋技術科学大学 社会連携推進センター

e-mail: sharen@office.tut.ac.jp TEL: 0532-44-6569**<今後の展望>**

本研究事業の成果をもとに、豊橋市防災危機管理課とは、継続して水害に強い街づくりのために協力していく予定です。住民アンケートでは、「災害当時は職場・学校にいた」という声が多数挙がっており、今後は企業とのハザード時の連携対応も重要であると感じています。また地球温暖化に伴い、将来発生し得るハザードに対する対策、展望についても研究を進める予定です。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・太田

TEL: 0532-44-6506 FAX: 0532-44-6509



2024年12月10日

ダイバーシティ推進センターの活動報告

(1) PRIDE 指標 2024 (報告)

11月14日に一般社団法人 work with Pride が策定したLGBTQに関する取組評価指標「PRIDE 指標 2024」において「シルバー」を取得しました。

(2) ダイバーシティ推進センター主催のシンポジウム (報告)

「工学分野のジェンダー平等に向けて～ジェンダード・イノベーションやフェムテック教育・研究の展開～」と題したシンポジウムを開催しました。講演前には、関係者が集い、名刺交換及び意見交換をする場も設けました。

(3) ダイバーシティ活動支援学生との活動 (報告)

オープンキャンパスおよび技科大祭にて、ダイバーシティの活動についてアピールしました。また、「ダイバーシティの多様性」をテーマとして、無意識の偏見など、私たちが持つ「個人の思考の幅」について考える座談会をダイバーシティ活動支援学生メンバーが主体となり開催しました。

(3) について、ダイバーシティ活動支援学生※より報告します。

※ダイバーシティ活動支援学生とは

ダイバーシティと工学の視点をもった新しい知や価値の創出を先導し得る先駆的な技術者・研究者の人材育成のため「ダイバーシティ活動支援学生」を募集し、採択された学生です。

担当者：ダイバーシティ推進センター事務局 森田・梅藤・上野 TEL:0532-44-6502

【ダイバーシティ推進センター URL】 <https://equal.tut.ac.jp/>

広報担当：総務課広報係 岡崎、太田 TEL:0532-44-6506